

風水土砂・火山・地震

防



東川町

Higashikawa Town
Disaster Prevention Hazard Map

災

ハザードマップ



「もしも!」
の時に備えましょう!



風水害・
土砂災害



火山災害



地震災害

お問い合わせ



東川町役場

〒071-1492 北海道上川郡東川町東町1丁目16番1号

電話 0166-82-2111 FAX 0166-82-3644

HP <https://town.higashikawa.hokkaido.jp/>

はじめに

私たちは、常に災害の危険と隣り合わせで暮らしています。

我が国は自然災害の多い国で、「東日本大震災」や「北海道胆振東部地震」など、近年、様々な災害が身近で発生しています。

災害には「地震」、「火山災害」、「風水害」などが挙げられますが、幸いにして上川管内、特に本町は自然災害が非常に少ない町です。しかしながら、全くない訳ではありません。

災害は、いつ起きるかわかりません。「自分の住んでいる町は大丈夫だろう」、「台風が近づいてから考えればなんとかなる」など、油断は禁物です。

特に本町は、地下水を利用しているため、停電になると給水ポンプが止まり、家で水を利用することが出来なくなってしまいます。

日頃から、家族で防災について話し合う機会を持ち、防災意識を高め、防災に関する対策を行っておきましょう。

当麻町

上川町

旭川市

倉沼川

東川町役場

忠別川

東川町

東神楽町

旭岳

▲2290.9

忠別湖

忠別ダム

美瑛町

洪水浸水想定区域の【想定最大規模】と【計画規模】とは

【想定最大規模】法の規定により定められた想定し得る最大規模(概ね1,000年に1回程度)降雨による洪水浸水想定区域(この鳥瞰図や巻末の折込み地図に掲載しています。)

- 忠別川流域の72時間(3日間)総雨量457mm
- 倉沼川流域の72時間(3日間)総雨量515mm

【計画規模】洪水防御に関する計画の基本となる(概ね150年に1回程度)降雨による洪水浸水想定区域(本誌9~16ページの地図に掲載しています。)

- 忠別川流域の72時間(3日間)総雨量280mm
- 倉沼川流域の72時間(3日間)総雨量260mm

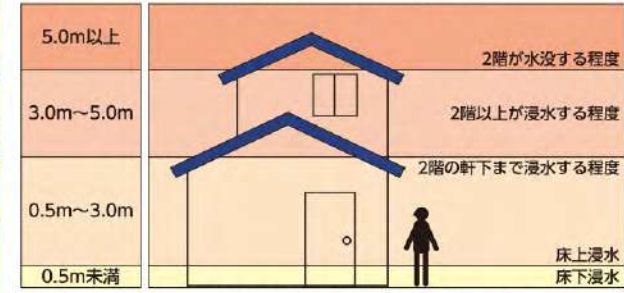
※この浸水想定区域図に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

東川町の洪水浸水想定区域図 (想定最大規模)

この図は想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により河川が氾濫した場合の浸水状況をシミュレーションにより予測したものです。

凡 例

浸水した場合に想定される水深



浸水経験のある範囲や土砂災害の恐れのある区域を图示しています。

家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)

目 次

はじめに・目次	1・2
災害情報を確認する	3・4
風水害への備え	5・6
土砂災害への備え	7・8
洪水ハザードマップ	9~16
火山災害への備え	17・18
火山ハザードマップ	19・20
地震への備え	21・22
ゆれやすさマップ	23
備蓄と非常持出し品	24
国民保護について	25・26
避難所施設一覧	27・28
避難について	29
避難時の服装と要配慮者への思いやりを	30
わが家の防災メモ	裏表紙

災害情報を確認する

① 災害情報の伝達経路

状況に応じて、気象情報(大雨・洪水などの注意報・警報や台風・地震・火山についての情報)と避難情報は、下図のように町民の皆さんに伝えられます。



② 災害などで発令される避難情報 (気象庁と各市町村より発表・発令)

住民の避難行動等を、直感的に理解できる「警戒レベル」で危険度や避難のタイミングを伝えます。

警戒レベル4で全員避難!!

「警戒レベル3」が発令された場合は、その後の町からの情報に注意してください。

災害の危険度	警戒レベル	住民がとるべき避難行動	避難情報と気象情報	情報発信
↑ 高 ↓ 低	警戒レベル5	すでに災害が発生しています 命を守るための最善の行動をとってください	避難情報 災害発生情報 気象情報 大雨特別警報・氾濫発生情報	市町村が発令
	警戒レベル4	全員 避難	避難情報 避難勧告・避難指示(緊急) 気象情報 土砂災害警戒情報・氾濫危険情報	
	警戒レベル3	高齢者 障がい者 乳幼児 など その支援者は避難 その他の住民は準備	避難情報 避難準備・高齢者等避難開始 気象情報 大雨・洪水・氾濫 警報情報	
	警戒レベル2	避難に備え、ハザードマップなどにより 自らの避難行動を確認	気象情報 大雨・洪水・氾濫 注意報	気象庁が発表
	警戒レベル1	防災気象情報などの最新情報に注意するなど、 災害への心がまえを高める	気象情報 早期注意情報 (警報級の可能性)	

※身の危険を感じたときは警戒レベルに関わらず避難してください。また、必ずしも段階的に、レベル1から順に発令されるとは限りません。



警戒レベル5に相当する
特別警報が発表された場合

数十年に一度、これまでに経験したことのないような、
重大な危険が差し迫った異常な状況にあります
ただちに「**命を守る行動**」をとってください!

災害情報の入手

災害時は様々な情報が錯綜し、混乱を招く場合があります。

大事なのは「最新の正しい情報」を入手し、行動することです。普段から気象庁が発表する気象情報に注意し、いざという時に備え、どのような情報がどのようにして受信できるのかを確認しておきましょう。

テレビ・ラジオ SNS・インターネット



様々な媒体を利用して情報を入手しましょう。また、UHBテレビの地デジ広報でも情報が入手できます。8チャンネル(UHB)に合わせて、テレビリモコンの「**dボタン**」を押してください。

東川町防災行政無線 スピーカー



東川町では、災害が発生した場合、災害の規模、災害現場の位置や状況を把握し、いち早く正確な災害情報の伝達手段の確保を目的として、防災行政無線を整備しています。

エリアメール (NTTドコモ) 緊急速報メール (au・ソフトバンクなど)



携帯電話・スマートフォンをご利用の方に、緊急を要する気象・地震・津波などの情報が一斉に配信されます。

※受信は無料ですが、各種対応機種による設定をお願いします。

気象情報に注意!

台風や豪雨はある程度進路や規模などを予測できるため、普段から気象情報に注意しましょう。

気象や防災に関する情報はテレビやラジオのほか、以下のホームページやSNSなどからも入手できます。

東川町公式SNS

町からのお知らせや、防災情報、各種行事の様子などを発信しています。



LINE公式アカウント



Facebook

東川町公式アプリ



東川町の最新情報を手軽に確認できる、東川町公式のスマートフォンやタブレット向けのアプリです。防災情報の入手にも活用できます。



for iPhone/iPad



for Android

NHK ニュース・防災アプリ

最新ニュースや災害情報をお届けするNHK公式のアプリです。マップ上で雨雲や台風、河川情報をチェックでき、ライブ放送の同時提供もあります。



for iPhone/iPad



for Android

防災情報全般

(警報・注意報/地震/竜巻など)

北海道防災情報

PC・スマホ版

<http://www.bousai-hokkaido.jp/>



携帯電話版

<http://l.bousai-hokkaido.jp/>



気象情報

気象庁 旭川地方気象台

PC・スマホ版

<https://www.jma-net.go.jp/asahikawa/>



気象庁サイト
スマホ版

<https://www.jma.go.jp/jma/>



雨量・水位情報

国土交通省 川の防災情報

PC版

<http://www.river.go.jp/>



スマホ版

<http://www.river.go.jp/s/>



火山情報

気象庁 旭川地方気象台

PC・スマホ版

<https://www.jma-net.go.jp/asahikawa/kazan/kazan.html>



気象庁サイト
スマホ版

https://www.jma.go.jp/jp/volcano/map_1.html

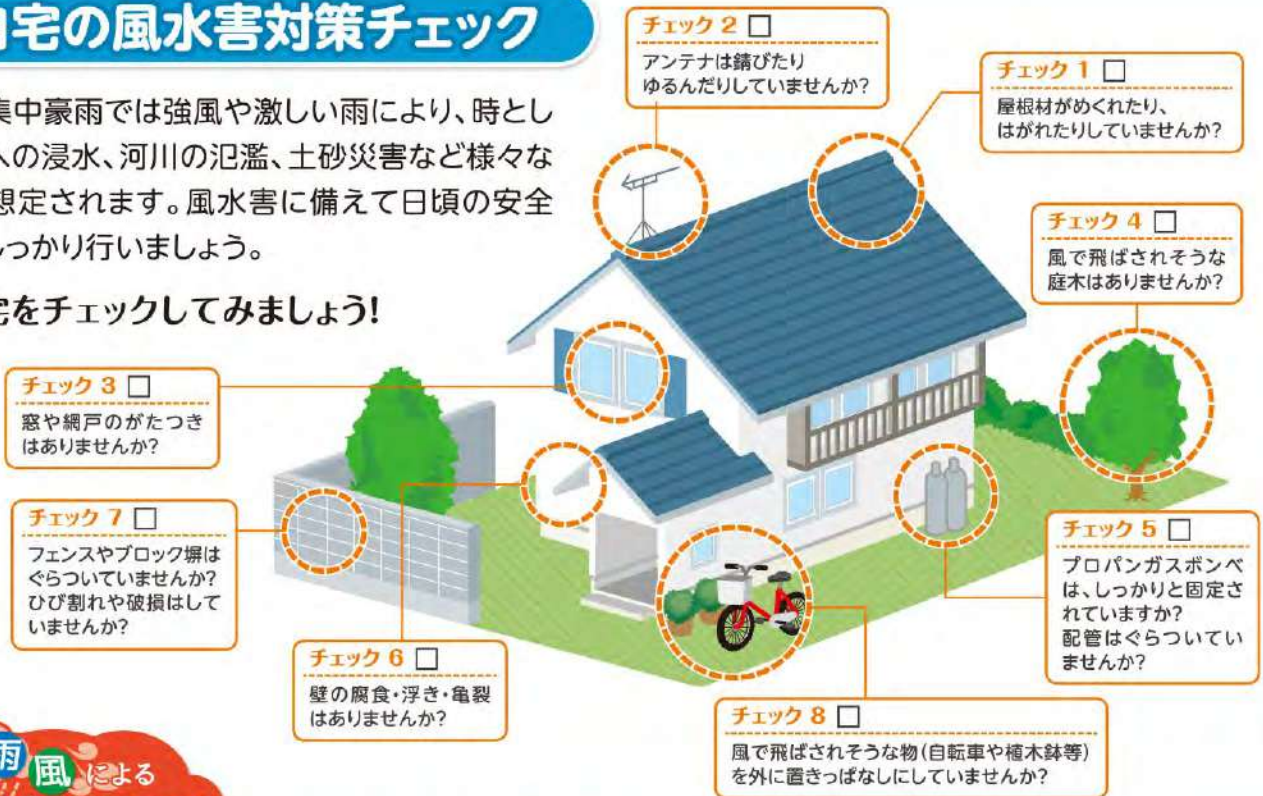


風水害への備え

自宅の風水害対策チェック

台風や集中豪雨では強風や激しい雨により、時として家屋への浸水、河川の氾濫、土砂災害など様々な被害が想定されます。風水害に備えて日頃の安全対策をしっかり行いましょう。

☑ 自宅をチェックしてみましょう!



雨風による危険度を知っておこう

雨の強さと降り方



やや強い雨

1時間に
10~20mm未満

ザーザーと降る雨。地面一面に水たまりができ、地面からの跳ね返りで足元が濡れ、話し声が聞き取りにくくなります。



強い雨

1時間に
20~30mm未満

どしゃ降り。傘をさしても濡れてしまうほどの雨で、側溝や下水、小さな川があふれ、小規模のがけ崩れなどの心配があります。



激しい雨

1時間に
30~50mm未満

バケツをひっくり返したような雨。道路が川のようになり、山崩れ・がけ崩れが起きやすくなるため、危険地帯では避難の準備が必要になります。



非常に激しい雨

1時間に
50~80mm未満

滝のように降る雨。河川の氾濫をはじめ、土石流などが起きやすく、多くの災害が発生するおそれがあります。車の運転も危険です。



猛烈な雨

1時間に
80mm以上の雨

息苦しくなるような圧迫感のある雨。雨による大規模な災害が発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要となります。

風の強さと吹き方

※風速は10分間の平均風速です。最大瞬間風速は平均風速の約1.5倍~3倍以上になることがあります。



やや強い風

風速10~15m/s

風に向かって歩きにくくなり、樹木全体や電線が揺れ始めます。高速運転時は横風に流される感覚を受けます。



強い風

風速15~20m/s

風に向かって歩けなくなり、転倒する人も出ます。看板やトタン板が外れ始め、高所での作業は極めて危険です。



非常に強い風

風速20~25m/s

何かにつかまっていなくて立ってられません。通常速度による運転が困難になり、飛来物による負傷にも注意しましょう。



猛烈な風

風速25~30m/s

細い木が折れたり、根が張っていない木が倒れ始めます。屋根材や看板が落下・飛散し、道路標識が傾ぎます。



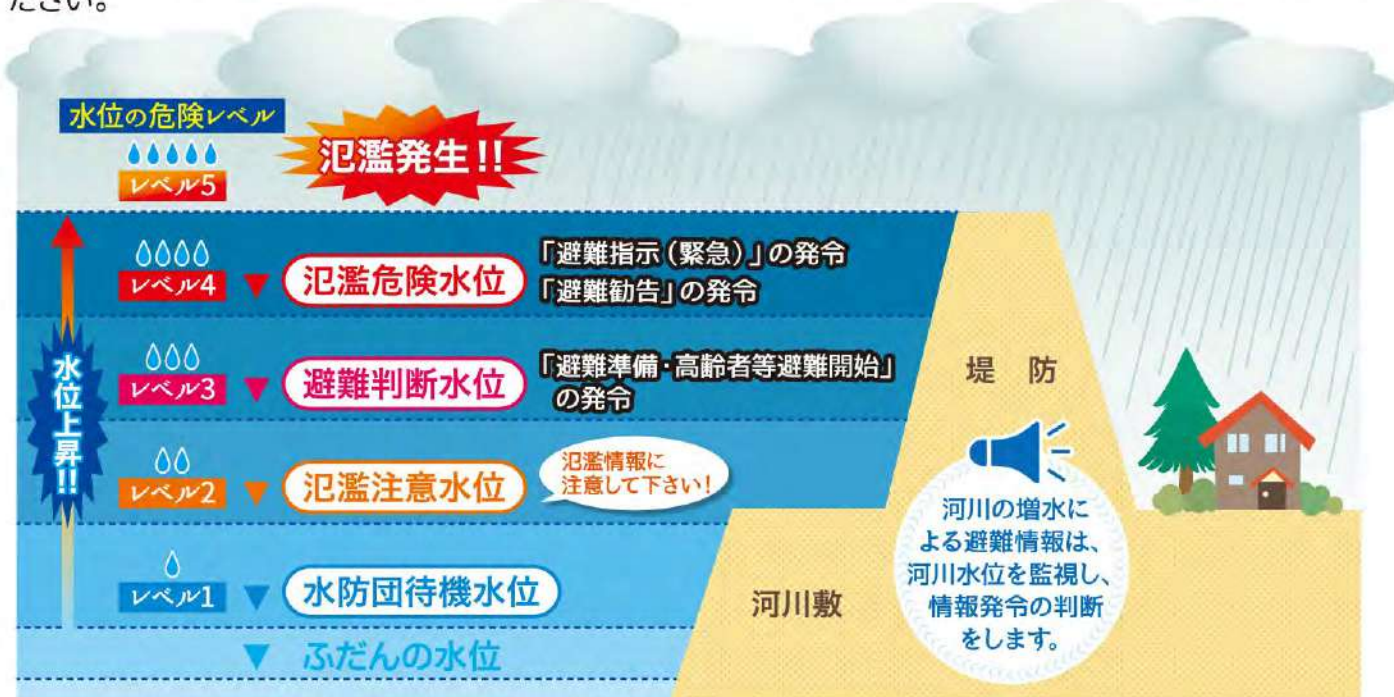
猛烈な風

風速30m/s以上

屋外での行動は極めて危険です。多くの樹木が倒れ、走行中のトラックが横転したり、倒壊する住宅も出てきます。

河川氾濫の危険レベル

気象庁から記録的短時間大雨情報が発表されるほどの雨が降ると、浸水被害や崖崩れ、土石流、地滑りなどの土砂災害が発生します。また水の力はとても強く、大雨による浸水被害が起こった場合、人や車は簡単に押し流されてしまいます。大雨が予想される時は水辺に近づかないようにし、気象情報に十分注意してください。



<p>水防団待機水位 (指定水位)</p> <p>大雨などにより、この水位をこえると水防関係機関が水防活動の準備に入ります。</p> <p>テレビ、ラジオなどの最新の気象・洪水情報に注意し、警戒を強めてください。また、避難に時間を要する人(高齢者、障がいのある方、乳幼児等)とその支援者は避難の準備を整えましょう。</p>	<p>氾濫注意水位 (警戒水位)</p> <p>洪水注意報の基準となり、災害のおそれがある水位です。この水位をこえると水防関係機関が出動します。</p>	<p>避難判断水位</p> <p>避難準備・高齢者等避難開始の発令基準となる水位です。</p> <p>避難に時間を要する人とその支援者は避難を開始し、その他の人は避難の準備を整えましょう。避難の際は危険な場所は通らないようにしましょう。</p>	<p>氾濫危険水位 (特別警戒水位)</p> <p>避難勧告等の発令基準となり、家屋浸水等の被害を生じる氾濫のおそれがある水位です。</p> <p>速やかに避難所へ避難しましょう。外出することでかえって命に危険が及ぶような状況では、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。</p>
--	---	---	---

歩ける深さは膝下まで!

OK

歩ける水の深さの目安は約30cm!

水かさが増し、水の流れが速くなればなるほど、水の力も強くなり、徒歩での避難が難しくなります。水深が腰まであったり、浅くても水の流れが速い場合は無理をせず、高い場所で救助を待ちましょう。

車が浸水したらすぐ外へ!

水深が30cmに達すると車のエンジンが停止する可能性があり、水深と流速が増すと車ごと流される危険もあります。車が浸水した場合はすぐに外に出ましょう。

避難に遅れたら...

万一、避難に遅れ危険が迫った時には、自宅の2階か近くの頑丈な建物の2階以上に逃げましょう。

避難する時は裸足や長靴は避け、ひもで締められる運動靴などを履きましょう!

土砂災害への備え

土砂災害の多くは雨が原因で起こります。

1時間に20mm以上、または降り始めから100mm以上の降雨量になったら、十分な注意が必要です。

こんな前ぶれ現象に注意!!

次のような現象を察知した場合は、土砂災害が直後に起こる可能性があります。

直ちに周りの人と安全な場所へ避難するとともに、関係機関へ通報してください。



● 山鳴りがする



● 雨が降り続けているのに川の水位が下がる



● 地面にひび割れができる



● 川の流れが濁り流木が混ざりはじめる



● 小石がパラパラ落ちてくる



● 斜面から水がふき出す

いろいろな土砂災害

一般的に土砂災害は、降雨や融雪で地中の水分が増して地盤が緩み、さらに長雨や強雨が続いたときに発生するとされています。土砂災害の要因となる降雨について、常日頃から注意しましょう。

土石流



山や川の石や土砂が、大雨などにより水と一緒に激しく流れ下る現象。

がけ崩れ



雨や雪どけ水、地震などの影響によって、急激に斜面が崩れ落ちる現象。

地すべり



雨や雪どけ水が地下にしみこみ、断続的に斜面が滑り出す現象。

① 逃げ方を覚えましょう



土石流の流れる方向に対して直角に避難！

土石流は速度が速いため、流れを背にしていたのでは追いつかれてしまいます。土石流の流れる方向に対して直角に逃げるようにしましょう。



がけ崩れは一瞬で起こるため、早期避難の判断が重要です。緊急時には、がけの高さの2倍以上の距離に逃げたり、室内の安全な場所(がけから離れた部屋や2階など)に避難しましょう。

② 土砂災害防止法について

土砂災害防止法とは、土砂災害から国民の生命を守るため、土砂災害のおそれのある区域を指定し、警戒避難体制の整備(情報収集及び伝達、避難体制など)、ハザードマップによる危険の周知、新規住宅等の立地抑制などのソフト対策を推進するもので、北海道によって土砂災害警戒区域の指定が進められます。

土砂災害警戒区域および土砂災害特別警戒区域とは

レッドゾーン	土砂災害警戒区域 (イエローゾーン)
イエローゾーン	土砂災害特別警戒区域 (レッドゾーン)

地図面上で、黄色で囲まれた **土砂災害警戒区域** は、「土砂災害が発生した場合、住民の生命又は身体に危害が生じるおそれのある区域」です。さらに、赤色で囲まれた **土砂災害特別警戒区域** は、「建築物に被害が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域」です。

土砂災害警戒区域にお住まいの方は、大雨のときには警戒避難が必要となる可能性があります。注意しましょう。

③ 土砂災害警戒情報

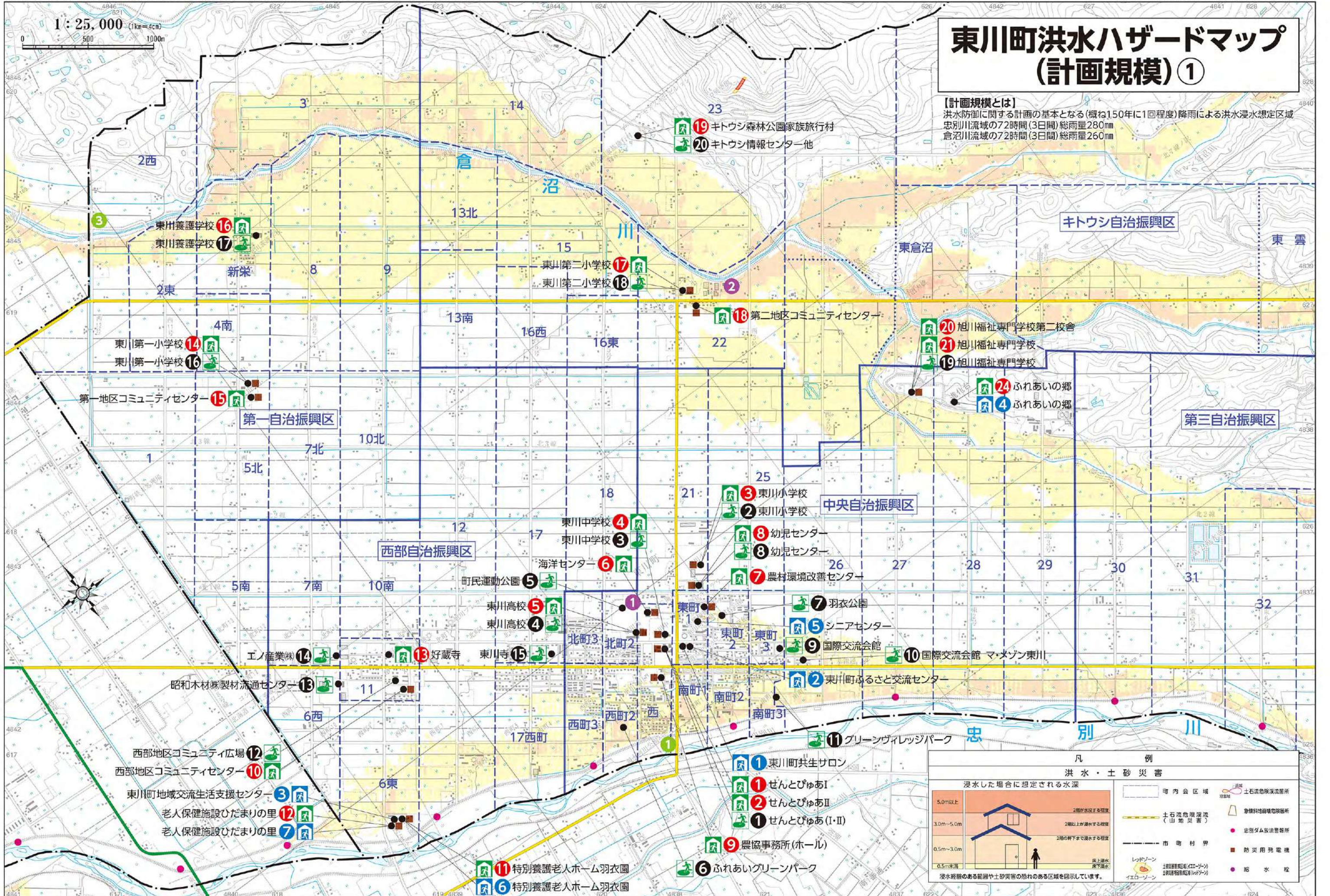
? 土砂災害警戒情報とは

大雨による土砂災害発生の危険度が高まった時、市町村長が避難勧告等を発表する際の判断や住民の自主避難の参考となるように、北海道と旭川地方気象台が共同で発表する災害情報です。

※北海道の土砂災害警戒情報については、右上のアドレスから参照できます。

北海道土砂災害警戒情報システム

<http://www.njwa.jp/hokkaido-sabou/>



東川町洪水ハザードマップ (計画規模)①

【計画規模とは】
 洪水防衛に関する計画の基本となる(概ね150年に1回程度)降雨による洪水浸水想定区域
 忠別川流域の72時間(3日間)総雨量280mm
 倉沼川流域の72時間(3日間)総雨量260mm

凡 例

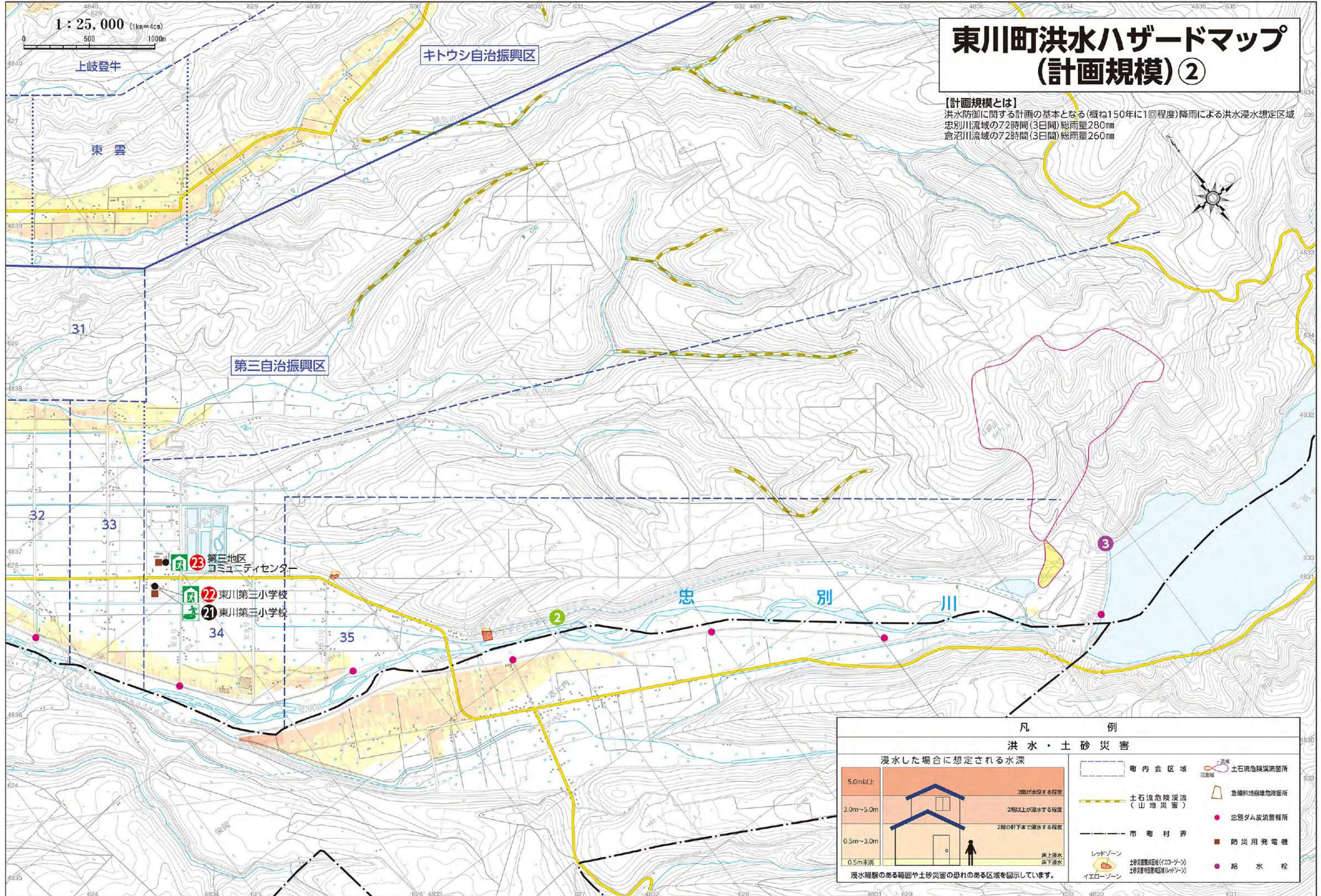
洪水・土砂災害

浸水した場合に想定される水深

5.0m以上	2階以上浸す程度
3.0m-5.0m	2階以上浸水する程度
0.5m-3.0m	2階の軒下まで浸水する程度
0.5m未満	床上浸水 床下浸水

浸水路線のある範囲や土砂災害の恐れのある区域を明示しています。

- 町内会区域
- 土石流危険渓流箇所
- 土石流危険浸流(山地災害)
- 急傾斜地崩壊危険箇所
- 市町村界
- 避難ダム仮設警備所
- 防災用発電機
- レッドゾーン
- イエローゾーン

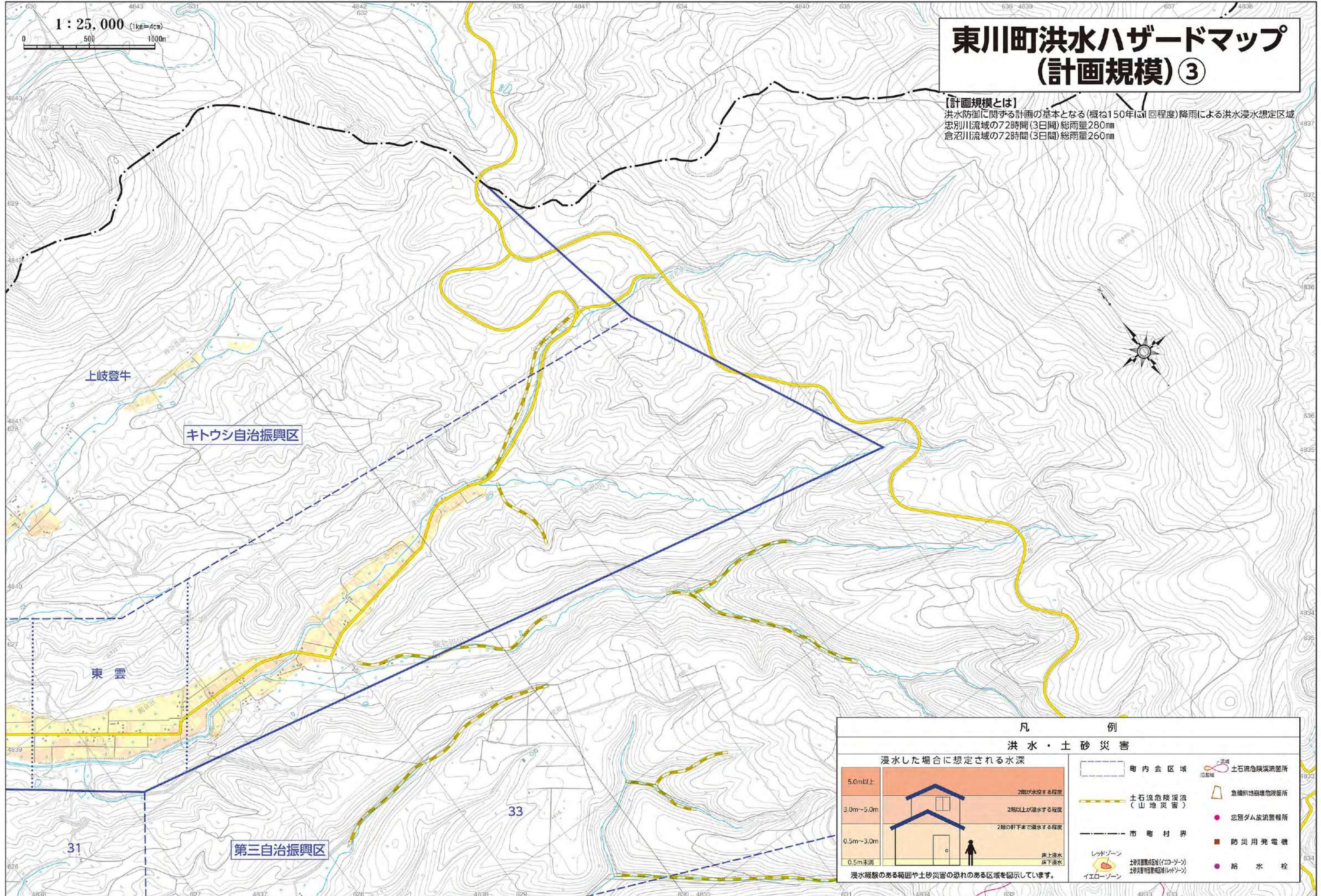


東川町洪水ハザードマップ (計画規模) ②

【計画規模とは】
 洪水防衛に関する計画の基本となる(概ね150年に1回程度)降雨による洪水浸水想定区域
 忠別川流域の72時間(3日間)総雨量280mm
 倉沼川流域の72時間(3日間)総雨量260mm

凡 例 洪水・土砂災害

浸水した場合に想定される水深 5.0m以上 3.0m~5.0m 2階が水没する程度 2階以上が浸水する程度 2階の軒下まで浸水する程度 0.5m~3.0m 0.5m未満 床上浸水 床下浸水 浸水経験のある範囲や土砂災害の恐れのある区域を明示しています。		町内会区域 土石流危険渓流 土石流危険渓流箇所 急傾斜地崩壊危険箇所 忠別ダム放流警報所 防災用発電機 レッドゾーン 土砂災害警戒区域(レッドゾーン) 土砂災害特別警戒区域(イエローゾーン)
---	--	---



東川町洪水ハザードマップ (計画規模) ③

【計画規模とは】
 洪水防衛に関する計画の基本となる(概ね150年に1回程度)降雨による洪水浸水想定区域
 忠別川流域の72時間(3日間)総雨量280mm
 倉沼川流域の72時間(3日間)総雨量260mm

凡 例 洪水・土砂災害

浸水した場合に想定される水深

5.0m以上	2階が水没する程度
3.0m~5.0m	2階以上が浸水する程度
0.5m~3.0m	2階の軒下まで浸水する程度
0.5m未満	床上浸水 床下浸水

浸水経験のある範囲や土砂災害の恐れのある区域を明示しています。

町内会区域	土流危険渓流箇所
土流危険渓流(山地災害)	急傾斜地崩壊危険箇所
市町村界	忠別ダム放流警報所
レッドゾーン 土砂災害警戒区域(レッドゾーン)	防災用発電機
イエローゾーン 土砂災害特別警戒区域(イエローゾーン)	給水栓



東川町洪水ハザードマップ (計画規模)市街図

【計画規模とは】
 洪水防衛に関する計画の基本となる(概ね150年に1回程度)降雨による洪水浸水想定区域
 忠別川流域の72時間(3日間)総雨量280mm
 倉沼川流域の72時間(3日間)総雨量260mm

- 21 東川小学校
- 25 幼児センター
- 7 農村環境改善センター
- 6 海洋センター
- 7 羽衣公園
- 5 シニアセンター
- 1 東川町共生サロン
- 2 東川町ふるさと交流センター
- 9 国際交流会館
- 10 国際交流会館 マ・メゾン東川

西部自治振興区

中央自治振興区

凡 例

洪水・土砂災害

浸水した場合に想定される水深

5.0m以上	2階が水没する程度
3.0m~5.0m	2階以上が浸水する程度
0.5m~3.0m	2階の軒下まで浸水する程度
0.5m未満	床上浸水 床下浸水

浸水経験のある範囲や土砂災害の恐れのある区域を明示しています。

- 町内会区域
- 土砂流危険渓流(山地災害)
- 市町村界
- レドゾーン(土砂災害警戒区域(IIゾーン))
- イエローゾーン(土砂災害警戒区域(IIゾーン))
- 土砂流危険渓流箇所
- 急傾斜地崩壊危険箇所
- 忠別ダム放流警報所
- 防災用発電機
- 給水栓

火山災害への備え

火山噴火について知ろう!!

大雪山は、旭岳、北海岳、黒岳などの山々を有する火山群の総称です。その中央部にある直径約2kmの御鉢平カルデラは、約3万年前の大噴火で生まれました。旭岳地獄谷火口からは現在も噴気が上がっています。最近700年間は顕著な噴火は発生していませんが、万が一の噴火に備え、火山災害についての情報を知っておきましょう。

噴火の前兆を知る



噴火警報と噴火警戒レベル

大雪山で居住地域や火口周辺に影響が及ぶ噴火が予想された場合には「**噴火警報**」が発表されます。また「**噴火警戒レベル**」として、危険な範囲や取るべき行動を5段階に区分して発表します(下記表)。

大雪山の噴火警戒レベル

種別	名称	対象範囲	レベル(キーワード)	火山活動の状況	住民等の行動及び登山者・入山者等への対応	想定される現象等
特別警報	噴火警報(居住地域)又は噴火警報	居住地域及びそれより火口側	レベル5 避難	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある。	<ul style="list-style-type: none"> 旭岳温泉は避難 積雪期は天人峡温泉も避難 	<p>【マグマ噴火】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●大きな噴石や火砕流により、旭岳温泉に重大な被害を及ぼす噴火が発生又は切迫。 過去事例 約9,000年前以降の噴火 ●積雪期に旭岳山頂付近から火砕流が発生した場合、融雪型火山泥流により天人峡温泉にも重大な被害が発生する可能性がある。 <p>【水蒸気噴火・マグマ水蒸気噴火】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●大きな噴石、岩屑なだれや土石流により、旭岳温泉に重大な被害を及ぼす噴火が発生又は切迫。 過去事例 約2,800年前の噴火(旭岳地獄谷爆裂火口を形成)
			レベル4 避難準備	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される(可能性が高まっている)。	<ul style="list-style-type: none"> 旭岳温泉は避難準備、要配慮者の避難が必要 積雪期は天人峡温泉も避難準備、要配慮者の避難等が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ●旭岳温泉に重大な被害を及ぼす噴火の可能性が高まっている。 過去事例 約700年前の噴火
警報	噴火警報(火口周辺)又は火口周辺警報	火口から居住地域近くまで	レベル3 入山規制	居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	<ul style="list-style-type: none"> 住民は通常の生活(今後の火山活動の推移に注意) 入山規制等危険な地域への立入規制等 状況に応じて要配慮者の避難準備等が必要 	<p>【レベル3の発表について】</p> <p>レベル3は、火山活動が高まっていく段階では運用せず、レベル4、5から下げる段階で状況に応じて発表する場合がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●火口が特定される又は火山活動が低下して、旭岳温泉への影響がなくなったと判断された場合。
		火口周辺	レベル2 火口周辺規制	火口周辺に影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	<ul style="list-style-type: none"> 想定火口域内への立入規制 登山道の規制 住民は通常の生活(今後の火山活動の推移に注意) 旭岳温泉では、要配慮者の避難準備等が必要 積雪期は天人峡温泉でも要配慮者の避難準備等が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ●地震活動や熱活動の高まり等により、想定火口域内に影響を及ぼす噴火の発生が予想又は噴火が発生。
予報	噴火予報	火口内等	レベル1 活火山であることに留意	火山活動は静穏。火山活動の状態によって、火口内(噴気孔周辺)で火山灰の噴出等が見られる(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)。	<ul style="list-style-type: none"> 状況に応じて火口内への立ち入り規制等 	<ul style="list-style-type: none"> ●火山活動は静穏。

※ここでいう「大きな噴石」とは、主として風の影響を受けずに弾道を描いて飛散する大きさのものとする。

もし噴火が起きると…

火山による噴火は災害をもたらすことがあります。噴火の起こり方や噴出物の種類も多様であり、それに伴う様々な災害が想定されます。

○ 溶岩流

地下に存在する岩石が融けたもの(マグマ)が、地表に流れ出たものです。

○ 噴石

噴火の爆発により直径数cm以上、時には1m以上の大きな石が降ります。

○ 降雨型泥流

降雨型泥流は火山灰が降り積もったところで、降雨により発生します。特に沢沿いや低い場所は危険です。

○ 岩屑なだれ(山くずれ)

噴火や地震が引き金となって、山体が大規模に崩壊して発生する現象です。

避難時の心得

噴火が起きても慌てずに、このような装備で避難しましょう。また、がけや川のそばはなるべく避けて避難しましょう。



○ 火砕流

火砕流は高温の噴出物が沢沿いなどを高速で流れ下る現象です。高温で破壊力が大きく、壊滅的な被害をもたらします。

○ 火山灰

上空の風によって運ばれ、火山灰による健康被害や農作物への影響など、広範囲に被害が発生します。

火砕サージ(爆風)

高温の爆風で家屋や樹木に被害

○ 融雪型火山泥流

火砕流の熱などで雪が溶かされて発生する泥流です。



火山灰から身を守る!!

火山が噴火すると風向きにより火山灰が積もることがありますが、対策をするだけで普段の生活を送ることができます。

○ 目を守りましょう!

目の表面に傷がつくおそれがありますので、目がゴロゴロしたら、こすらずに水で洗い流しましょう。コンタクトレンズの方は眼鏡に替えることをお勧めします。

○ マスクを着用しましょう!

火山灰は非常に細かくトゲトゲしているため、呼吸器系の症状を引き起こす場合があります。マスクがない場合は、濡らしたハンカチで鼻と口を押さえましょう。

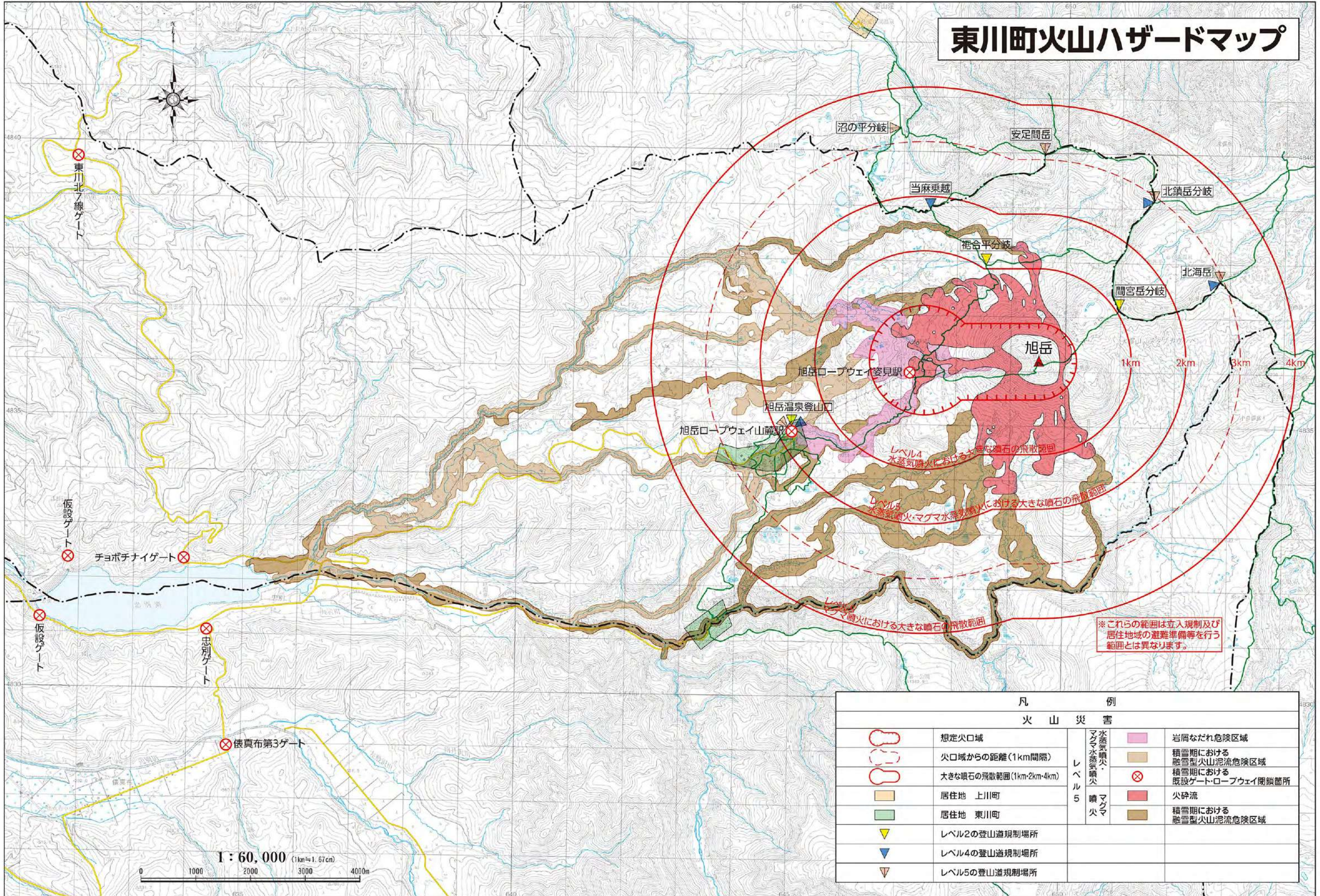
○ 運転に注意!

多量の降灰により視界不良となる場合があります。また、水を含んだ火山灰は滑りやすくなるため、徐行運転を心がけましょう。

○ 火山灰の侵入を防ぐ!

火山灰は小さな隙間から家屋に入り込みます。窓等の隙間をふさぎ、火山灰の侵入を防ぎましょう。

東川町火山ハザードマップ



※これらの範囲は立入規制及び居住地域の避難準備等を行う範囲とは異なります。

凡 例				
火 山 災 害				
	想定火口域	レベル5 噴火 マagma		岩屑なだれ危険区域
	火口域からの距離(1km間隔)			積雪期における融雪型火山泥流危険区域
	大きな噴石の飛散範囲(1km・2km・4km)			積雪期における既設ゲート・ロープウェイ閉鎖箇所
	居住地 上川町	レベル4 噴火 マagma		火砕流
	居住地 東川町			積雪期における融雪型火山泥流危険区域
	レベル2の登山道規制場所			
	レベル4の登山道規制場所			
	レベル5の登山道規制場所			

1 : 60,000 (1km ≒ 1.67cm)
0 1000 2000 3000 4000m

地震への備え

自助

自宅で備える 平時～地震発生前

家具の配置の見直しや固定などを行い、家具の転倒によるケガなどを防ぎましょう。また、食料や飲料水などの自宅避難生活お役立ちグッズの備蓄など、災害に備えましょう。



まずは事前の備え

地震発生

身を守る

グラツときた！！ 0～2分

グラッと揺れたら、まず落下物から身を守りましょう。

- ・机の下に入る
- ・クッションなどで頭を保護する
- ・家具から離れる
- ・ガラス面から離れる



とにかく自分の身を守る

危険を

大きな揺れがおさまった！ 2～5分

台所やストーブなどの火の始末をしましょう。避難のときは**ブレーカーを切る**こと、**ガスの元栓を閉める**ことも忘れないようにしましょう。



火の始末をし、しっかり火災防止

● 屋外の安全対策

地震による被害を減らすために、自宅の安全対策について点検しましょう。

住宅の耐震性に不安がある場合は、耐震診断を行い、補強等を実施するようにしましょう。

■ 屋根



- 屋根のひび割れ、ずれ、はがれなどがなく確認しましょう。
- アンテナはしっかりと固定しましょう。

■ 窓ガラス



- 万一の為にガラス飛散防止フィルムを貼りましょう。
- 強化ガラスにしましょう。

■ ブロック塀



- ブロック塀は、ぐらついていないか、ひび割れや破損はないか確認しましょう。
- 鉄筋が入っているか、特に通学路・避難路に面している所はしっかり補強しましょう。

■ 玄関まわり



- 通行の支障となるものを置かないようにしましょう。
- 古新聞・古雑誌など引火しやすいものを放置しないようにしましょう。

● 室内の安全対策

地震時のケガの原因は、家具などの転倒によるものももっとも多く、室内の散乱は逃げ遅れてしまう原因にもつながります。家具の配置や固定具合を見直し、安全対策に努めましょう。

■ テレビ・パソコン



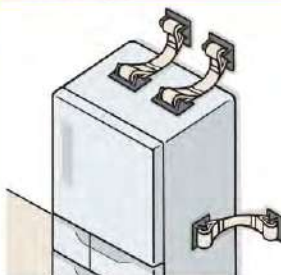
- できるだけ低い位置に固定して置き（家具の上はさける）、金具や耐震マットなどで固定しましょう。

■ 暖房機器



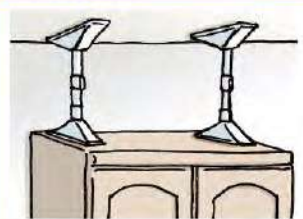
- 自動消火装置付きのものを選び、周囲に燃えやすい物を置かないようにしましょう。

■ 冷蔵庫



- 冷蔵庫ストッパーを用いて冷蔵庫の天板、または側板と壁との間をベルトで固定しましょう。

■ 家具



- 背の高い家具や本棚は、L型金具や突っ張り棒などで固定しましょう。タンス・本棚などに収納する時は重い物を下に、軽い物を上に収納しましょう。

回避する

共助

地域を守る

火の始末のあと 5～10分

自分の身の安全を確保できたら、次のことを行いましょう。

- ・ 家族の安全の確認、確保
- ・ ガラス片や転倒家具に注意
- ・ 避難のための出口の確保



家の安全確認、確保

外に出たあと 10分～半日

隣近所で安否の確認をして、協力し合い、近隣住民の救出、救護にあたりましょう。

- ・ 倒壊家具や転倒家具の下敷きになっている人の救出
- ・ 火災発生時の初期消火活動
- ・ けが人の救護
- ・ 消防署への通報



隣近所の安否確認、助け合い

避難所へ避難後 半日～

避難所の円滑な運営には、自主防災組織、町内会、地域住民の協力が不可欠です。協力して、避難所を運営しましょう。



自主的な避難所運営

地震の震度

気象庁
震度階級

震度1



屋内にいる人の一部がわずかな揺れを感じる。

震度2



電灯などがわずかに揺れる。

震度3



屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。

震度4



電灯などが大きく揺れ、眠っている人のほとんどが、目を覚ます。

震度4以上の揺れが予想された場合、全国瞬時警報システム(Jアラート)により緊急地震速報が流れます。

震度5弱



大半の人が恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。棚の食器類、書棚の本が落ちることがある。

震度5強



物につかまらなさと歩くことが難しい。補強されていないブロック塀が崩れることがある。

震度6弱



立っていることが困難になる。固定していない家具が移動し、倒れるものもある。

震度6強



はわなないと動くことができない。耐震性の低い木造建物は、傾くものや倒れるものが多い。

震度7



耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが増える。

次ページでは東川町で想定される地震と、その震度を掲載しています。

ゆれやすさマップ

ゆれやすさマップとは、想定地震が発生した場合に住んでいる地域がどれくらいゆれやすいかを色分けして示した地図です。東川町全域の特色を把握して、大きな地震の際には避難の参考にしてください。

■ 震度4以下 ■ 震度5弱 ■ 震度5強 ■ 震度6弱 ■ 震度6強 ■ 震度7

地震時に通行を確保すべき道路【特に重要】
地震時に通行を確保すべき道路

想定地震

十勝・釧路沖地震



北海道地域防災計画及び中央防災会議で想定する八つの地震の中で、東川町に最も大きな影響を及ぼす地震として「十勝沖・釧路沖の地震」(M8.2)を想定

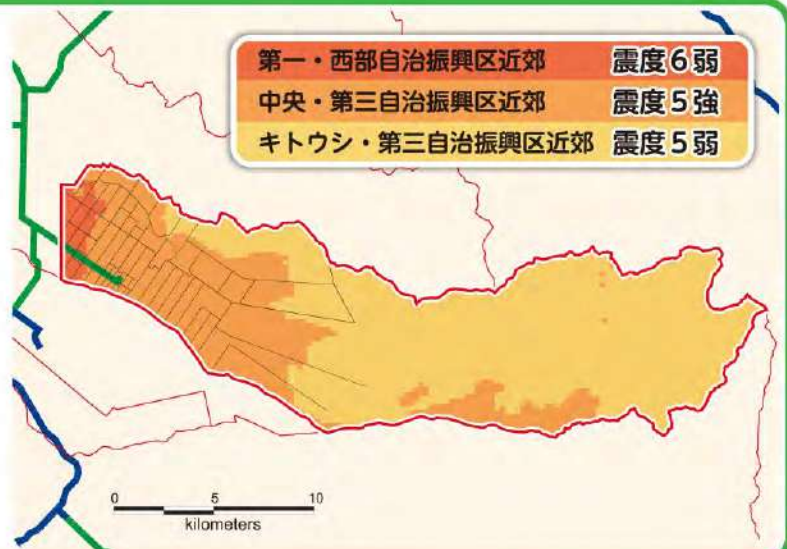


想定地震

増毛山地東縁断層帯のうち沼田-砂川付近の断層帯



地震調査研究推進本部で調査研究を進めている八つの活断層の中で、東川町に最も大きな影響を及ぼす活断層型地震として「増毛山地東縁断層帯のうち沼田-砂川付近の断層帯」(M7.5)を想定



想定地震

M6.9直下型



全道を500mメッシュ(約500m角の正方形)に分割し、東川町の直下のいずれかのメッシュにM6.9(全国どこにでも起こりうる直下型の地震)が発生したことを想定



備蓄と非常持出し品

1 備蓄の重要性

平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災や平成 30 年 9 月 6 日の北海道胆振東部地震に伴うブラックアウト（大規模停電）では物資の調達や輸送、上水道のライフラインの確保ができなくなる等深刻な問題が発生しました。

この経験を踏まえ「東川町備蓄計画」を策定しました。今後は本計画に基づき、自助、共助を基本に町民による日頃からの家庭内備蓄を推進して町民・事業者・町が日頃からの備えや災害時の適切な対策がとれるようにするものです。

1 家庭内備蓄・事業所等における備蓄の推進

平常時から災害に備え、各家庭や事業所等において最低限3日以上以上の食糧、生活必需品等の備蓄の推進。

2 事業者による流通備蓄

災害時に備えて民間事業者等とあらかじめ協定を結び、災害時に不足する食糧等を避難所等へ迅速に配分する。

3 東川町による備蓄

大災害や局地的な災害に備えて常に必要な物資を避難所等に配備、配送できる環境を確保する。



2 非常持出し品・チェックリスト

万一の際に備えて、家庭では次のようなものを準備し、定期的にチェックをしておきましょう。

非常持出し品(例)

防災ラジオ・携帯ラジオ

- 防災ラジオ・携帯ラジオ
- 電池(多めに用意)

※防災ラジオは、日ごろから充電しておいてください。

救急医療品

- 常備薬
- 傷薬
- 風邪薬
- 鎮痛剤
- 絆創膏
- 包帯
- 胃腸薬

貴重品

- 現金
- 印鑑
- 健康保険証
- キャッシュカード
- 預貯金通帳
- 運転免許証
- 権利証書

懐中電灯

- 懐中電灯(LED)
- 電池(多めに用意)

※できれば一人にひとつ

非常食品

- 調理せずに食べられる食品
- 水筒
- ミネラルウォーター
- 缶切り
- 紙皿
- 栓抜き
- 紙コップ

※ 保存食、お菓子、缶詰、栄養補助食品等
※ 洗わずに済む食器など

その他

- 衣類(下着・上着など)
- 生理用品
- 粉ミルク
- ヘルメット
- ラップフィルム(止血や食器にかぶせて使う)
- スマートフォン・携帯電話及び充電器
- 地図・本ハザードマップ
- 防寒用品
- 携帯トイレ
- 離乳食
- ライター
- タオル
- ハサミ
- 軍手

飲料水

- 飲料水としてペットボトルや缶入りのミネラルウォーター(一人1日3リットルを目安に)
- 貯水した防災タンクなど

非常食品

- お米(缶詰・レトルト・アルファ米も便利)
- 缶詰・レトルト食品
- 梅干し・調味料など
- ドライフーズ・チョコレート・アメ(菓子類など)

燃料

- 卓上コンロ
- ガスボンベ
- 固形燃料

その他

- 生活用水(風呂・洗濯機などに貯水)
- 毛布・寝袋・洗面用具・ドライシャンプーなど
- 衛生用品・ウェットティッシュ
- 簡易トイレ

国民保護について

国民保護計画

国民保護計画とは、「武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律（国民保護法）」に基づき、外国からの武力攻撃や大規模テロ等から国民の生命、身体及び財産を保護するための計画で、国や道、町が連携協力して住民の「避難」、「救援」、「武力攻撃に伴う被害の最小化」を図ります。



対象となる事態

国民保護計画が対象とする事態は大きく分けて武力攻撃事態と緊急対処事態があります。

武力攻撃事態とは・・・

わが国に対する武力攻撃が発生した事態、または発生する明白な危機が切迫していると認められるに至った事態。

上陸部隊の侵略による攻撃

ゲリラ・特殊部隊による攻撃

弾道ミサイルによる攻撃

航空機による攻撃

緊急対処事態とは・・・

大規模テロなど武力攻撃の手段に準ずる手段を用いて、多数の人を殺傷する行為が発生、または発生する明白な危機が切迫していると認められるに至った事態。

攻撃対象施設等による分類

- ダム破壊、可燃性物質貯蔵施設の爆破
- 大規模集客施設・ターミナル駅の爆破

攻撃手段による分類

- 生物剤・化学剤などの大量散布
- 航空機などによる自爆テロ

住民のみなさんのご協力が必要です

国民保護においても、自然災害の場合と同様に住民の避難や被災者の救援に際し、みなさんのご協力が不可欠です。次のような協力をお願いすることがあります。



住民の避難や被災者救援の援助



消火活動や負傷者の搬送の援助



保健衛生確保関連処置の援助



避難に関する訓練への参加

国民保護のための仕組み

国、道、町は協力して「避難」、「救援」、「武力攻撃災害への対処」などの措置を行います。



避難所施設一覧

避難所施設と発電機設置場所

東川町は、地下水のまちであるため、電気の供給が止ると水の利用が出来なくなります。このため、役場庁舎及び一部の避難所施設に防災用発電機を設置し、停電時にも水の利用が出来るようになっています。

設置場所は、下記表の「発電機設置」欄に●印で記載しています。

また、全町的な停電が起きた場合に備えて、給水車が利用できるように、東川町ノカナンにある大雪旭岳源水付近に給水栓を設置しています。



指定避難所

災害によって自宅で生活できない人が、一定期間の避難生活を行う施設。

番号	施設名	所在地	電話番号	収容可能人数	対象地区	発電機設置
1	せんとぴゅあI	北町1丁目1番1号	74-6801	1,000人	西町2・西町3・南町1・南町2・南町3	●
2	せんとぴゅあII	北町1丁目1番2号	82-4265	300人	西町2・西町3・南町1・南町2・南町3	●
3	東川小学校	西4号北8番地	82-2425	2,000人	東町2・東町3・26	●
4	東川中学校	北町1丁目5番1号	82-2428	980人	17西	●
5	東川高校	北町2丁目12番1号	82-2534	700人	北町2・17	●
6	海洋センター	北町1丁目7番1号	82-4600	530人	北町3	●
7	農村環境改善センター	東町1丁目15番3号	82-3200	400人	東町1	●
8	幼児センター	西4号北8番地	82-3400	400人	18・21・25	●
9	農協事務所(ホール)	西町1丁目5番1号	82-2121	200人	西	●
10	西部地区コミュニティセンター	西町8丁目5番1号	82-4291	460人	11	●
11	特別養護老人ホーム羽衣園	西町8丁目29番3号	82-3631	40人	6西	●
12	老人保健施設ひだまりの里	西町8丁目29番1号	82-5550	40人	6東	●
13	好蔵寺	北町8丁目2番9号	82-2655	200人	7南・12・10(南)	
14	東川第一小学校	西10号北24番地	82-2751	310人	4南・5北・7北・10(北)	●
15	第一地区コミュニティセンター	西10号北24番地	82-3411	100人	1・5南	●
16	東川養護学校	西10号北36番地	82-4586	260人	2東・2西・3・8・9・新栄	
17	東川第二小学校	西4号北32番地	82-3019	260人	13北・15・22	●
18	第二地区コミュニティセンター	キトウシ南1丁目1番5号	82-4517	150人	16東・16西・13南	●
19	キトウシ森林公園家族旅行村	西4号北43番地	82-2632	180人	14・23・上岐登牛	
20	旭川福祉専門学校第二校舎	進化台	82-4520	250人	29・東倉沼	
21	旭川福祉専門学校	進化台	82-4520	80人	28・東雲	●
22	東川第三小学校	東8号南1番地	82-3015	260人	31・32・33・34	●
23	第三地区コミュニティセンター	東8号北1丁目5番2号	82-5000	80人	30・35・天人峡・旭岳	●
24	ふれあいの郷	進化台	82-4858	70人	27	



指定緊急避難場所

災害時の危険を回避するために、一時的に避難する場所。

番号	施設名	所在地	電話番号	収容可能人数	地区名
1	せんとぴゅあ(I・II)	北町1丁目1番1号	74-6801	1,500人	中央自治振興区
2	東川小学校	西4号北8番地	82-2425	4,000人	
3	東川中学校	北町1丁目5番1号	82-2428	4,600人	
4	東川高校	北町2丁目12番1号	82-2534	11,700人	
5	町民運動公園	北町1丁目	82-4600	7,000人	
6	ふれあいグリーンパーク	西町2丁目	82-5910	7,290人	
7	羽衣公園	東町1丁目15番3号	82-3200	8,400人	
8	幼児センター	西4号北8番地	82-3400	1,290人	
9	国際交流会館	東町3丁目4番16号	82-4671	240人	
10	国際交流会館マ・メゾン東川	東町4丁目3番10号	82-2100	200人	
11	グリーンヴィレッジパーク	南町3丁目		3,000人	
12	西部地区コミュニティ広場	西町8丁目	82-4291	2,400人	西部自治振興区
13	昭和木材(株)製材流通センター	西町10丁目1番3号	68-4545	330人	
14	エノ産業(株)	北町10丁目1番1号	82-4000	460人	
15	東川寺	北町4丁目1番3号	82-2530	1,000人	第一自治振興区
16	東川第一小学校	西10号北24番地	82-2751	2,800人	
17	東川養護学校	西10号北36番地	82-4586	3,300人	
18	東川第二小学校	西4号北32番地	82-3019	2,900人	キトウシ自治振興区
19	旭川福祉専門学校	進化台	82-4520	6,200人	
20	キトウシ情報センター他	西4号北43番地	82-2632	11,500人	第三自治振興区
21	東川第三小学校	東8号南1番地	82-3015	2,600人	
22	天人峡温泉公共駐車場	天人峡	97-2141	200人	第三自治振興区(天人峡)
23	旭岳温泉ホテルペアモンテ	旭岳	97-2321	750人	第三自治振興区(旭岳)
24	大雪水資源保全センター駐車場	ノカナン		200人	第三自治振興区(ノカナン)



福祉避難所

介護が必要な方、障がいがある方など、日常生活が困難な方を対象とした施設。

番号	施設名	所在地	電話番号	収容可能人数	地区名	発電機設置
1	東川町共生サロン	東町1丁目7番10号	82-2666	30人	全町域	
2	東川町ふるさと交流センター	東町1丁目7番14号	82-6060	30人	全町域	
3	東川町地域交流生活支援センター	西町8丁目29番3号	82-3631	30人	全町域	
4	ふれあいの郷	進化台	82-4858	50人	全町域	
5	シニアセンター	東町1丁目15番1号	82-2770	50人	全町域	
6	特別養護老人ホーム羽衣園	西町8丁目29番3号	82-3631	140人	全町域	●
7	老人保健施設ひだまりの里	西町8丁目29番1号	82-5550	140人	全町域	●

避難について

① 普段の備え

河川に接する低い土地や地盤が緩く不安定な造成地は、水害による危険性が高い場所です。注意しましょう。

天気予報や気象情報に注意

台風や豪雨はある程度、襲来の時期や規模などを予測できます。普段から気象情報に十分注意して、風や雨に対する万全の対策を立てることが大切です。



家の内外を点検整備

トタンのめくれや、アンテナが不安定になっていると竜巻や台風時の被害の元になります。



避難場所を確認する

本ハザードマップに示されたあなたの近くの避難場所を確認しておきましょう。



安全な避難順路の確認

- 避難場所までの実際の道順を確認しましょう。
- 目印になるものを、覚えておくくと便利です。



② 避難時の注意

避難するときは二次災害を考慮に入れ、足元に注意して避難しましょう。

自主的に避難準備を

ラジオ・テレビで最新の気象・災害情報に注意し、危険を感じたら避難準備をしましょう。



呼びかけに注意

役場、消防署、警察署からの避難の呼びかけに注意しましょう。



お年寄りや障がい者の避難に協力を

老人、幼児、傷病者、障がい者（避難行動要支援者）を優先的に避難させましょう。



二人以上で避難

できるだけ一人の行動は避け、家族や近所の人などと一緒に避難しましょう。



避難する前に

避難する前に、ガス、電気、火種を消し、避難場所を確認。万一途中で家族が離ればなれになったときの集合場所を決めておきましょう。



安全な避難を（段差・溝に注意）

避難にはできるだけ高い道路を選び、浸水があった場合は、溝や水路に十分注意しましょう。なお、水がたまった場合、歩ける深さの目安は、ひざぐらいまでです。また、産地などでは、土砂災害の恐れがあるので注意しましょう。



車での避難は控えて

自動車での避難は緊急車両の通行の妨げや駐車場スペースの問題等がありますので、指定された地区以外は特別の場合を除き、徒歩で避難しましょう。



堤防に車を放置しない

水防活動の妨げになりますので、自動車を堤防や道路に放置しないようにしましょう。



④ 避難時の服装と要配慮者への思いやりを

ヘルメットや防災頭巾などで頭を保護

軍手や革手袋などで手を保護

長袖、長ズボンで

荷物は少なく、非常持ち出し品は両手があくリュックがオススメ

裸足や長靴は避け、履きなれたものをひもで締められる底の厚い運動靴や登山靴などが良い
(踏み抜き防止インソール(中敷き)を入れても良い)

動きやすい服装で避難を！

要配慮者への思いやりを

高齢者や障がい者、傷病者、小さな子ども、妊産婦などは避難に時間がかかったり、情報や状況を迅速に把握できない場合があります。配慮や手助けが必要となることもあります。日頃から近所の要配慮者を把握しておいたり、災害時には地域のみなさんと協力しあって要配慮者を支援しましょう。



高齢者・傷病者

- 正しい情報を伝える
- 不安を取り除くように声かけを
- 手を貸したり、おぶって避難



障がい者

- 声をかけたり、介助の手助けを
- 耳が不自由な方は、筆談や身振りに対応



妊産婦・幼児

- 手荷物を持ったりの手助けを
- 子どもがはぐれたり、ケガをしないよう気にかける



わが家の防災メモ

もしもに備えて
書き込んでおきましょう

わが家の
避難場所

わが家の
集合場所

家族との連絡先

家族の名前	生年月日	血液型	メモ (病症・病歴、携帯電話番号、勤務先など)
	T・S・H・R 年 月 日	型 Rh(+/-)	
	T・S・H・R 年 月 日	型 Rh(+/-)	
	T・S・H・R 年 月 日	型 Rh(+/-)	
	T・S・H・R 年 月 日	型 Rh(+/-)	
	T・S・H・R 年 月 日	型 Rh(+/-)	
	T・S・H・R 年 月 日	型 Rh(+/-)	

困ったときの連絡先

親戚や知人・病院などの連絡先を書いておきましょう!

名前	電話	住所	その他
		〒	
		〒	

緊急連絡先



安否情報などを家族や知人に知らせる方法を確認しておきましょう!

災害用伝言ダイヤル

171

災害用伝言ダイヤルは安否確認などで、電話が繋がりにくい状況でも、伝言の録音・再生により、被災地内の家族や親戚・知人等と連絡を可能にする「声の伝言板」です。

伝言の録音方法

171 にダイヤル
ガイダンス(案内放送)が流れます

録音の場合 1

0XXXX-XXX-XXXXX

自宅、または連絡を取りたい被災地の方の電話番号を、市外局番からダイヤルする

伝言の録音

※詳しい内容はNTTのホームページで確認してください

伝言の再生方法

171 にダイヤル
ガイダンス(案内放送)が流れます

録音の場合 2

0XXXX-XXX-XXXXX

伝言の再生

171またはNTT 🔍検索



携帯電話 災害用伝言板



大規模な災害が発生した場合に、各携帯電話会社から提供される災害用伝言板です。携帯電話やスマートフォンから安否情報の登録・確認ができます。

※詳しい内容は携帯電話各社のホームページ等で確認してください